

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学V-B①(代謝)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	901教室
担当教員	福井 浩之				
実務経験と その関連資格	理学療法士として総合病院にてリハビリテーションを18年経験。 ICUにて糖尿病性の急性昏睡で集中治療される患者から、糖尿病の教育入院患者に糖尿病の運動療法を指導。 糖尿病症例としては年間50症例以上。 糖尿病専門理学療法士を取得。がんのリハビリテーション研修会修了。				
《授業科目における学習内容》					
糖尿病は、現在日本の成人人口の4～5人に1人が発症または予備軍である疾患である。理学療法士が患者または利用者に関わっていく上で、糖尿病の概要を理解し、患者指導・リスク管理が少しでも行えるようになる。また、現在急増中である動脈硬化性疾患であるPAD(=ASO)の病態を理解してもらう。					
《成績評価の方法と基準》					
定期テスト100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
資料配布 参考資料: 病気がみえる③ 糖尿病・代謝・内分泌 第4版 編集:医療情報科学研究所 発行:メディックメディア 糖尿病の理学療法 第1版 発行:メディカルビュー社 糖尿病治療ガイド 2019-2020 編集:日本糖尿病学会 発行:文光堂					
《授業外における学習方法》					
配布資料と参考資料に沿った自己学習					
《履修に当たっての留意点》					
糖尿病は現在社会において、なかなか切り離せない疾患となっております。今後、理学療法士になり仕事をやっていく上で、知っていて損はないと思います。内部障害の知識を持っておくと、従来の治療に加え+αの治療が提供できます。人より一つ上の理学療法士になりましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	糖尿病の疫学, 予後, 病因, 症候について理解・説明できる。	配布資料	解剖学や生理学で習った消化器系や腎臓の働きの復習	
	各コマにおける授業予定	糖尿病の疫学, 予後, 病因, 症候について学ぶ。			
第2回	授業を通じての到達目標	糖尿病の検査, 診断, 治療について理解・説明できる。	配布資料	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	糖尿病の検査, 診断, 治療について学ぶ。			
第3回	授業を通じての到達目標	糖尿病の食事療法・薬物療法について理解できる。	配布資料	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	糖尿病の食事療法・薬物療法について学ぶ。			
第4回	授業を通じての到達目標	糖尿病の合併症(急性・慢性等)について理解・説明できる。	配布資料	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	糖尿病の合併症(急性・慢性等)について学ぶ。			
第5回	授業を通じての到達目標	糖尿病の運動療法の評価・検査や効果について理解・説明できる。	配布資料	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	糖尿病の運動療法の評価・検査や効果について学ぶ。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	糖尿病の運動療法における運動の種類・運動強度・運動時間・頻度・運動の実施時間帯について理解・説明できる。	配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	糖尿病の運動療法における運動の種類・運動強度・運動時間・頻度・運動の実施時間帯について学ぶ。		
第7回	授業を通じての到達目標	糖尿病の運動強度の決め方(運動負荷試験・呼気ガス分析)について理解・説明できる。	配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	糖尿病の運動強度の決め方(運動負荷試験・呼気ガス分析)について学ぶ。		
第8回	授業を通じての到達目標	末梢動脈疾患の疫学、予後、病因、症候について理解できる。	配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	末梢動脈疾患の疫学、予後、病因、症候について学ぶ。		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			